

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	南部地域療育センターそよ風			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 6日		～	2024年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2024年12月21日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	24
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを理解し、特性に応じた専門性のある支援を提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> 日々のケースや定期的を実施される学年会などを通して、子どもの姿を共に捉えより適切な支援内容、プログラム内容を検討、実施している。 幅広い視点で捉える為、リハスタッフも定期的にクラスに入り子どもの理解を共に深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種での連携を強化し、幅広い視点で子どもの捉えを深める。 研修等に積極的に参加し、知識をふかめる。 学年会、ケース検討などを通して、子どもの発達、支援方法を振り返る。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会など、保護者同士の交流の機会を設ける。また、兄弟向けのプログラムを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 親の会を定期的実施。保護者同士の交流を行う。 行事に保護者、家族への参加を呼びかけている。 バザーや夏まつり、プール設営など、父親も含めた保護者にご協力いただいている。 兄弟向けプログラムを実施。キャンプに行ったり、交流をする機会をもうけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 父親プログラムをくみ、交流や学習などを年間で計画する。父親の学習会を行う予定。 兄弟プログラムを次年度も継続的に実施。学年齢に合わせたプログラムの充実を図る。
3	災害時の発生に備え、定期的に避難訓練を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、様々な想定で訓練を実施している。津波の危険もある地域のため、津波に備えての訓練も実施。子どもに合わせた薬、衣服等の備蓄の預かりも行っている。 防災の学習会を行い、防災体験を親子で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災食の見直しや、保護者と共に防災について考える機会を設ける。 BCPを職員に周知し、理解を深める。 コドモンを活用し、防災、防犯マニュアルを保護者が確認できるよう準備をすすめる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもや保護者からの相談や申し入れについての対応	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から相談があったときは、できるだけ迅速に懇談を設けるように進めてきたが、充分応えられていないところがあった。職員個人の受け止めや判断になること、また職員数が多い時差勤務もあることから、情報共有、伝達への意識を高める必要がある。 また、コドモンからの読み取りが充分ではなく、対応が遅れることがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の悩みや不安、困りごとを丁寧に捉え、懇談の機会を設けたり、必要に応じて、他の職種とも情報を共有し、よりよい支援をすすめています。 コドモンを丁寧によみとりながら、保護者の思いを捉えます。申し入れがあった場合は、迅速な対応をします。 職員に情報伝達するための、情報ツールの運用を検討します。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流	<ul style="list-style-type: none"> 園庭を通して、保育園の子どもたちとの交流はあるが、今年度は計画的な交流を実施できていない。 お互いの子どもの状況や環境から、交流が難しい課題もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を計画的に行うだけでなく、園庭で一緒にあそぶ、体操と一緒に参加するなど、日々の交流を意識していきます。 まずは、同法人の保育園との交流をすすめます。また、地域の保育園との顔の見える関係づくりを目指していきます。
3	子どもにわかりやすく、構造化された環境、バリアフリー化や子どもの活動に合わせた環境の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴い、充分バリアフリー化できない所もあるのが現状。子どもにわかりやすいよう、クラスごとに必要な視覚支援を行っている。 基準は満たしているが、室内が狭く、部屋の中で環境を区切る、充分なあそびのスペースを確保するなど難しい状況もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所については、職員の目視点検を実施。玩具なども定期的に点検を行っています。 修繕箇所については、計画的に順次修繕をすすめています。子どもたちが気持ちよく過ごせる環境をつくります。 遊戯室や園庭、園外に出るなど、しっかりとあそべる環境を整えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 南部地域療育センターそよ風

公表日 2025年 3月 27日
利用児童数 2024年 12月 1日

回収数 39/51 (76.5%)

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	6	5	0	年長ほど狭い部屋であることは疑問だが他児の様子が見えるぶん いい面もあるように思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2	9	0	園外保育の際には職員数を増やしてほしい。 子どもの特性によっては職員の負担が大きくなるので 余裕のある職員配置をしてほしい。 クラスの様子に合わせて、人員配置をしてきておりと てもありがたい。	配置人数は確保しています。クラスの状況を踏まえ、パートさんなども配置しています。今後も名古屋市などにも要望していきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	5	3	2	子どもたちのペースで過ごせていて良い おもちゃの数を増やしたり、手作りの物を増やすなどの 工夫が他の園に比べて少なく感じる。 バリアフリーでない。 畳と洋間の間に段差がありつまずきやすいと思う。 誰でも入れていしまうのでセキュリティ面が心配。	クラスの状況に応じて部屋の環境を整えることもありますが、子どもが安全に遊べるような玩具について検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	2	5	0	床や教居の劣化が見られる箇所があるので日々点検して ほしい。 教室で頭のぶつかりそうな位置に吊り戸棚があったり、 危険だと思ふ箇所がある。 施設自体は清潔に保たれていると思うが、教室が狭い事 もありのびのび過ごせるかは疑問。 テラス等の外履きで歩く事もある場所で、座り込んだり 寝転んだりしている事も衛生面に気になる。 施設が古い為ドアが開けづらく危険。畳が毛羽だっている のも気になる。	修繕が必要な場所については順次進めていきます。職員の目視もより丁寧にすすめていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	3	1	0	とても細やかに課題を見つけてくれて、親の意見も取り 入れて療育を してくれていると感じる、子供の先生への信頼も厚い。 PTなどの先生が入ってくださる中で、通園外でも療育の 提案をしてほしい。適切なタイミングがあるかなど含めて 知りたい。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	0	1	4		保護者への説明を丁寧に進めながら、 支援プログラムをすすめていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	1	1	0		引き続き、保護者と共に子どもの理解を共有すると共に、必要な課題やニーズを分析し今後も作成をすすめていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1	1	2	具体的な家族支援はあまりないと思う。連絡ミスが多く、 情報共有が不足していると感じる	保護者の方へ、支援内容、方向の説明を丁寧にすすめます。 連絡ミスや情報共有については、クラスないで共有し、より良い支援につなげるように努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	2	1	0		保護者の方と子どもの姿を共有しながら計画に沿った支援を進めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	1	4	あまり工夫を感じない。	子どもの状況から繰り返し実施するプログラムもあります。保護者の方に活動のねらいを丁寧に伝えていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	7	14	11	家庭で会うタイミングはあるが、療育施設にしか通った ことがないので 通常の保育園の子どもと関わるのはとても勇気がいる。 菜の花保育園と交流があると良い。	昨年度は、菜の花保育園とリズム交流の場を持ちましたが今年度は実施できていません。今後、子どもたちの状況なども、見ながら、保育園との交流を課題に検討していきたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	1	1	1	休みに関して入園前に聞いた話とずれがある。基本カレン ダー通りだと聞いていたが思いのほか休みが多く働き ながらの利用は難しいと感じた。 就園を申し込むと退園しなくてはならないことの説明が なかったので不安になった。	次年度は、延長保育の時間を朝や水曜に 実施し、保護者の就労支援も一緒に考えていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	3	0	3		外部の研修なども含め、保護者の方への案内をすすめていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	4	0	1		書面でのやりとりではなく、十分に職員が把握できていないところがあるように感じます。丁寧にやりとりを通して子どもと保護者との関係性を構築していきます。お声がけください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	2	0	0		保護者の方の状況やニーズも丁寧に捉えながら本人支援につなげていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	1	1		保護者の方の状況やニーズも丁寧に捉えながら本人支援につなげていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がさ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場がある ことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されていますか。	34	4	0	1	父母会も機能しておりバザー等の行事もある為、交流は 多いと思う。 保護者1人で兄弟を連れての参加は難しく交流できない	家族の方が参加しやすい行事づくりをすすめていきます。また、父親向けの 交流会学習会なども計画していきます。
	19	29	7	1	2		保護者の方からの回答をしっかり受け止め、より丁寧に迅速な対応ができるよう努めていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	4	2	1	電話の回線が一つしかない事、アプリの連絡方法は要件がずれたり前のメッセージをたどるのが大変だったりコミュニケーションを取るハードルが高い。全体的に連絡不足が多思う。保護者が知っている前提で進むことが多く戸惑った。	連絡や伝達について、コドモンの活用だけでなく、書面での配布なども行います。また、こちらからも、声をかけさせていただくなどしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	2	2	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	3	5		入れ間違いなども起き、ご迷惑をおかけしています。複数で確認し再発防止に努めます。また、職員にも個人情報の取り扱いについて再度周知します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	2	5	実際の訓練等のマニュアルや訓練の頻度などがいまいち把握できていない、子供は訓練があることは理解しているが親にまで周知されているとは言い難い。	そよ風だよりで実施日についてお知らせします。マニュアルについても、コドモンなどの活用をし保護者に周知するなど、今後検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	1	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	1	3	施設の老朽化が気になる。	施設の老朽化、修繕箇所については、計画を立てながら順次修繕を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2	1	2		事故が発生した場合は、保護者への説明をさせていただくと共に、書面を作成し、職員へ周知し、再発防止に努めます。また法人内の検討委員会へ報告します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	3	0	0		今後も子どもとの関係を丁寧に築きながら、安心して通えるように努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	4	1	1	沢山の経験をさせてくれるので、子ども通園が楽しみになっている。	保護者の方も、お子さんも安心して楽しく通えるよう、安心してできる関係づくりやプログラムづくりを進めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	6	0	0	総合的にとても満足している。健康面までとても丁寧に見て頂いてありがたい。日々の保育に不満はないが、共有する情報が不十分に感じる。もう少し個人的訓練を受けられると良い。	保護者の方のニーズを丁寧に捉えながらお子さんにとってより良い支援をすすめていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
南部地域療育センターそよ風		2025年 3月 27日			
項目	チェック項目	スコア		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	19	5	・子どもの状況から部屋の棚や畳の配置を変えている。 ・外での活動や遊戯室、屋上などを使い組みを行っている。 ・看護師のパートを配置した。	・施設基準は満たしていますが、子供の状況に応じた部屋の使い方や、場所の使用（遊戯室・園庭）も引き続き検討します。 ・看護師もパート職員の配置を行い、子供たちの健康の維持や、よりケアが適切に受けられるようにします。
	2	16	8	・計画的な休暇をとるなどし、そこにパート職員を配置できるようにしている。 ・活動によっては、配置基準以上の人員配置を行っている。	・パート職員を配置し、引き続き休暇が取りやすくなります。 ・正規配置はしていますが、引き続きとり組み内容などによって応援職員の配置をします。
	3	18	6	・建物の老朽化から、修繕が必要な場所は、その都度修繕を行っている。 ・環境から難しいこともあるが、できる限り子供たちにわかりやすいような環境設定をクラスごとに行っている。	・引き続き、修繕を計画的に進めます。 ・おもちゃや遊具など、毎月チェックを行います。 ・子供たちの姿勢から創意工夫しながら、安全に、わかりやすい保育環境を引き続き作っていきます。
	4	19	5	・子どもの状況から、空間を区切る、棚や畳の配置を変えるなど、活動に合わせた空間とは言い切れないが狭いながらも工夫している。 ・修繕箇所がある。気が付いたところで修繕や対応をおこなっている。	・建物の老朽化と修繕は引き続き行っています。 ・キーパーさんと共に、安全で清潔な環境の維持に努めます。 ・廊下やテラス、遊戯室なども使用し、子供が落ち着けるスペースを確保します。
	5	20	4	・西館は空き部屋がなく、職員室を活用している。 ・廊下など、必要時には場を区切ることで気持ちを切り替える機会を設けるようにしている。	・西館は、廊下や職員室なども使用しながら、子供たちが安全、安心に過ごせる用に努めています。 ・また、活動によっては、エリアをわけるなど、子供たちに配慮したとり組み方も検討します。
業務改善	6	20	4	・ケース時間の確保、学年会を実施し日々の保育や行事の振り返りから次に生かすようにしている。 ・意見を他のクラスからももらうようにしたり、学年会を他クラスと一緒に様々な視点から活動内容や子どもの姿の振り返りをできるようにしている。	・PDCAサイクルについて意識しながら、学年会や日々の振り返りを行い、進捗や月案に反映、具体化させます。 ・必要時には、引き続きクラスを超えた学年会や検討会を行います。
	7	22	2	・様々な意見を多方面から得ることで、振り返りや、改善策を考える機会になっている。	・親の会の要求アンケートからも、業務内容を振り返っています。引き続き行い、よりより支援、業務内容づくりに努めます。
	8	20	4	・会議を設け、みんなで検討、周知をしている。必要時には、朝礼で周知、検討している。 ・個別で必要時に面談などを行っている。	
	9	22	2	・今年度より、第三者評価をおこなっています。	・外部の方の意見を聞きながら、業務改善に努めています。
	10	24	0	・内部の研修だけでなく、研修費の補助もあり、様々な研修が受けられる機会がある。 ・積極的に学んでいる。 ・法人内、必要な内容を部としても開催 定期的に研修実施し、職員の資質向上につなげている。	・引き続き、研修の機会を設けながら、職員が積極的に学び、資質向上に努めます。 ・職員の状況から、好ましい研修の提案をしています。
適切な支援の提供	11	23	1	・半期ごとの計画作成を作成、担当者会議を行い検討している。保護者とも懇談の場を持ち確認しています。	・子どもの姿を丁寧にとらえながら、適切な支援プログラムの作成に努めます。 ・新規職員については、支援計画について学びの場を設け、理解した上で支援プログラムの作成を実施します。
	12	24	0	・日々の親子療育や連絡ノート、アセスメントを行いながら、子供の状況、家庭の状況について、把握に努めています。	
	13	24	0	・保護者の方に協力依頼をお願いし、関わるクラス職員全員で検討ができる機会を設けています。	・保護者のニーズだけでなく、丁寧に子供の姿をとらえ、子供たちの姿からの適切な支援プログラムの作成に努めます。
	14	24	0	・支援計画と共に、毎日のケースや月間の子どもの振り返りをし、支援を進めるように努めています。	
	15	21	3	・アセスメントツールはあるがなかなか効果的に使用できていないのが現状です。子どもの日々の姿を見ながら話し、共有しています。リハ連携はアセスメントで共有 子どもの姿に合わせ内容検討されています。	日々の様子を丁寧にクラス担任だけでなく、必要時には、関りのある診療スタッフとも一緒に捉えています。
	16	24	0	すべての項目を支援内容に設定しています。	現在左の項目については網羅した支援計画を作成しています。
	17	22	2	毎月の学年会で共有し、日々のケースで話しています。クラス職員で立案を行っています。	
	18	24	0	子どもによっては、繰り返すことで楽しさや気づくことも多いところもあります。そのため、意図的に継続することもあります。固定化しないために変化も加えています。子どもの姿に合わせ内容検討しています。	上記と同様です。季節の行事なども積極的に取り入れながら、子どもたちが様々な経験を広げているようにしていきます。
	19	24	0	子どもの状況から、集団活動だけでなく個別での支援を適宜行っています。	引き続き基本的には集団療育ですが、必要なところは、個別の対応、個別支援も行いながらすすめています。
	20	16	8	毎日そろわない実態もあり、支援開始前の打ち合わせが不十分などところがあります。情報共有する場は作っています。	バス当番などもあるので、毎日実施できないところもありますが、できるだけ事前に打ち合わせるように努力しています。
	21	11	13	送迎や延長等で担任が全員揃っての振り返りは少ないのが現状です。ケースは実施し共有 していない。	上記と同様です。
	22	19	5	日々の個別の記録はせず、クラスの日誌という形で記録しています。それを学年会で共有 し振り返り、共有しています。	引き続き、日誌なども活用し日々の療育内容、支援内容を検討していきます。
	23	21	3	半年に1回見直し、計画作成しています。支援計画の細かい見直しは十分できていないところもあります。	半年に一回保護者の方に話を伺いながら進めています。見直しの必要性が見られた時は、適宜検討していきます。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	1	子どものことを理解している職員が参加しています。体制等で毎日実施できていないですが、翌日朝までに共有するようにしています。	今度も、子どもの状況、家族の状況を理解した職員が参画すると共に、丁寧な支援作成に努めます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	2	様々な機関と協力、引継ぎしています。必要時は会議の実施(関係機関含め) 保育所等訪問支援や地域連携を取り組んでいます。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1	移行に伴う書面、訪問での引継ぎや相談を受けています。また、移行前に、園の様子を見てもらう機会も設けています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	3	我が子の状況をサポートブック作成を行ってもらい、保護者が伝えられるように支援しています。引継ぎ表や必要に応じ見学実施しています。また、園の様子見に来てもらうこともしています。	引き続き移行に向けての支援をすすめます。書面だけでなく、学校訪問、必要時にはケースなども設けながら、より丁寧な移行支援を進めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	21	3	合同研修や実践検討を行っています。支援事業所には、行事の際にご案内をし、子どもの姿をみってもらう機会を設けたり、必要時にはケース検討会を行ったりしています。		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	0	積極的に研修の機会を設けています。	今後も、研修や専門職等からの意見も聞きながら幅広い視点を持つようになっています。	
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	19	5	担当者が参加しています。	引き続き継続して参加していきます。	
	31	(31は、事業所のみ回答)					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—	—			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	13	法人内の保育園と園庭共有しているが明確な交流は現在は今年度していません。	園内の子どもの状況を見ながら、検討していきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0	その日の状況や出来事を連絡帳、コドモン等で伝えています。週1回の親子登園でも共有し、必要に応じ直接電話等も実施しています。	・子どもたちの願いを、子どもの姿から伝えていますが、伝わりづらい現状もあるようです。写真や懇談等もしながら、共通の理解をもち支援を進めていけるように努力します。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	2	保護者向け研修を行っています。	今後も保護者のニーズに合った研修を実施していきます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	0	資料などを通して説明 年度当初に行っています。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	0	実施し、支援計画を作成しています	今後も、子どもの姿、家族の意向も聞きながらより良い支援につなげていきます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0	懇談を実施し、確認ももっています。 その都度必要なことは確認しています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	1	悩みや必要に對しすぐに面談等の対応しています。	今後も、保護者の相談や悩みに対して迅速な対応をしていきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24	0	親子登園(水曜日)に研修や交流実施。親の会、きょうだい、おやじのプログラム 年齢の取り組みを行っています。	母だけでなく父、兄弟等家族の支援を今後も継続的に行っていきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	0	必要に応じ実施しています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23	1	コドモンにておたよりや行事の発信を行っています。	SNSの活用はしていません。今後も、コドモンなどを活用し、保護者への発信を進めます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	1	入れ間違いなどもあり、配慮が足りてないところもあります。	今後も、個人情報の取り扱いを丁寧にすすめていきます。職員にも再度、扱いについて理解を深めます。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	0	よりわかりやすく表記する等、努めています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	23	1	バザー、夏まつりなどを実施しています。		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	1	マニュアルあるが、広く周知されていない 月1回訓練実施しているが、足りないところがある。	より発生を想定した訓練をし、改善をしながらマニュアル策定をすすめます。
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24	0	様々な訓練月1実施。BCPも作成しているが周知は充分ではない	職員への周知ができていない状況です。職員にも広く周知していきます。
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	0	発作状況表にまとめて(マニュアル作成)バスやクラスなどにおき、その子については職員間で共有し、迅速に対応できるようにしている。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24	0	医師の指示のもと対応していますが、取り扱いについて職員の学びはまだ不足している。	正しい、アレルギーの知識を職員が学び対応していけるようにします。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22	2	安全衛生委員会が設置されている。		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	4	安全計画に基づいて出来ていない あまりわからない 行っている実施日は伝えているが具体的な内容まで伝えられていない		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	0	ヒヤリハットは朝礼で共有 資料報告作成 検討しています。	引き続き、事業が発生した際は、法人内の検討委員会に報告し、対応します。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	1	研修を実施しました。		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	0	個々に説明し家族の同意を得ています。	今後も、利用児の安全を確保するために身体拘束を行った場合は、保護者に状況を丁寧に説明をします。	